

かむながらのみち ~ゆず~



しくみ

- 身曾岐神社 - かむながらのみち 125.385km
- 身曾岐神社 - 思金神社 125.385km
- 身曾岐神社 - 薬王寺 125.385km

- 解脱会 - かむながらのみち 31.65km
- 解脱会 - 大野キリスト教会(日本バプテスト教会連合) 31.65km
- 解脱会 - 白幡神社 31.65km

- かむながらのみち - 解脱会 31.65km
- かむながらのみち - ニコラ・バレ修道院 31.65km
- かむながらのみち - 御嶽神社 125.385km
- かむながらのみち - 橋本神明大明神 31.65km
- かむながらのみち - さがみ野霊園 31.65km

- かむながらのみち - 宮中三殿 31.80km
- かむながらのみち - 皇居内生物学研究所 31.80km
- かむながらのみち - 駐日イスラエル大使館 31.80km
- かむながらのみち - (財)日本YMCA同盟 31.80km
- かむながらのみち - 東京薬科大学 31.80km

身曾岐神社（総本山）



- 身曾岐神社 - かむながらのみち 125.385km
- 身曾岐神社 - 思金神社 125.385km
- 身曾岐神社 - 薬王寺 125.385km

かむながらのみち

1999年5月5日に横浜市磯子区岡村の地において立教された在家の宗教法人。教主は北川慈敬、理事長は北川大成。教主の北川 慈敬は人気のデュオグループ「ゆず」の北川悠仁の母。息子の北川悠仁が過去にVシネマ『オールナイトロング3』で、女性の下着や使用済みの生理用品を集める男を演じていたことが所属していた解脱会で問題視され脱会。教団の総本山となっている身曾岐神社は北川悠仁の所有。

1937年 - 大阪府生まれ

1948年 - 解脱会に入会

1958年 - 布教活動に入る

1999年2月 - 解脱会を離れる

1999年5月 - かむながらのみちを立教

理事長の北川大成は真言宗醍醐派金剛山成就院住職、NPO法人ガイアファミリー代表、元株式会社ETLジャパン社長。

祭神

天神地祇/かむながらのみちでは、宇宙創造の源の神とされる。

天五色大天空大神/かむながらのみちでは、大気の神とされる。

天照大神

両界種子曼荼羅/かむながらのみちでは、真言密教の根本の法を表したものとされる。

五智如来

五行不動尊

解脱金剛/解脱会の開祖岡野聖憲の尊称。かむながらのみちでは、解脱へと導く仏とされる。

神奈川県横浜市磯子区岡村4丁目17-9



身曾岐神社

祭神は身曾岐自在神、生前の御名は井上正鐵。由緒書にも記されているとおり、神道の歴史において決して忘れてはならないお方。神道中興の祖であります。医者でもあった井上正鐵は、多くの人の病を治す中、「医術で病は治せても、人の心までは救えない」と悟り、人心の救済の道を求めて諸国を遍歴。最後に辿りついたのが、神道(かむながらのみち)でした。

江戸時代、神職としての資格を得るには白川家か吉田家に入門するしかなく、井上正鐵は白川家の門をたたきます。白川家は花山天皇の御代より神祇伯を代々相承していた名門で、宮中の祭祀、ならびに日本神祇行政を仕切っていました。井上正鐵はここで神職となり、以後、この世を去るまで救世済民の道を進みます。

没後は弟子たちが井上正鐵を偲んで出した井上神社建立の願いが聞き届けられ、明治12年に井上神社は創建されました。そして時は流れ、昭和61年に身曾岐神社と改称。山梨県・小淵沢に遷座し、現在に至っています。

井上 正鉄(井上 正鐵、いのうえ まさかね、寛政2年8月4日(1790年9月12日) - 嘉永2年2月18日(1849年3月12日))は幕末の国学者、神道家。1840年 - 足立郡の梅田神明宮の神職となり、江戸で独自の神道を唱える。1842年 - 江戸幕府の滅亡を预言する言動を理由に三宅島に流される。

1849年 - 三宅島で没す。明治維新後、門人の坂田安治らによってその思想が纏められ『禊教』となる。現在は北川悠仁の所有となっている。

山梨県北杜市小淵沢町上笹尾3401



思金神社

横浜市内一番の自然パワースポットといわれる。

[御祭神]八意思金大神 知恵の神様、天の岩戸事件や天孫降臨にも大活躍した高天原の名参謀長。

[神社御由緒]

昭和3年「白山神社」の拝殿として創建され、戦前戦後の風雪に耐え、当時の氏子達に守られ、昭和43年頃より周辺の造成により「白山神社」に合祀され、昭和49年『思金神社』として祀られるようになりました。神社としては新しいようですが、この神社がある高台には、古代の遺跡などが発掘された場所が隣接しているそうです。エネルギーが強い、特別な場所のようです。

神奈川県横浜市栄区上郷町745-1



薬王寺

高野山真言宗寺院の薬王寺は、医光山と号します。薬王寺は、権大僧都圓海が天安2年(858)年に開基したといえます。本尊は薬師如來の坐像、高二尺。

脇立は十二神將の立像である。

神奈川県横浜市神奈川区七島町19-6



備考

変わらぬ人気で昨年はNHK紅白歌合戦のトリも務めたデュオグループ「ゆず」。1999年に立教した「かむながらのみち」の教祖はその「ゆず」の北原悠仁の母。ファンも取り込み1000人の信者を獲得している。度々この「しくみ(三角祭祀線)」に登場する「解脱会」を脱会して興したことがわかったので調べてみた。(大本教もそうだが、新興宗教団体は仲違いの内部分裂の形をとりながら実は同じ宗教団体なこ

とが多い) また、この新しい「しくみ」を探れば、どのようにして「しくみ」が作られるかを知ることができるのではと思った。

まずは総本山の身曾岐神社。教祖の井上正鐵を祭神とする幕末の新興宗教の神社。現在の所有は「ゆず」の北川悠仁。距離の離れた聖地から気を引き込むには、近い場所に同距離の聖地があるはず。さっそくコンパスをまわしてみると同距離に横浜で一番の自然パワースポットといわれる「思金神社」にぶつかった。祭神は天孫系の八意思金大神。また、天安2年(858)年に開基した薬師如来を祀る医王寺も同距離になった。これで総本山の気は引っ張れた。あとは親団体の解脱会とどう繋がるか。

解脱会



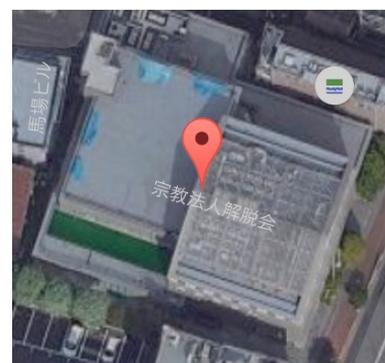
- 解脱会 - かむながらのみち -31.65km
- 解脱会 - 大野キリスト教会(日本バプテスト教会連合)31.65km
- 解脱会 - 白幡神社 31.65km

解脱会

1929年に創設された。真言宗系新宗教に分類されることもあるが、神仏混雑色が強く、宗教法人としての届けは「諸教」としてなされ、文化庁の宗教年鑑では諸教に分類されている。また剣道稽古を行なう解脱錬心館と呼ばれる団体も存在する。『宗教年鑑 平成28年版』における国内信者数は、99,184人

創始者・岡野英三

1929年(昭和4年)、故郷・北本宿の生家付近で、「太神を世に出せ」という啓示を受けた。この体験により、実業界から決別し、それに反対する妻とは離別し、宗教家となった。解脱会ではこの年を立教の年としている。1931年(昭和6年)、醍醐寺三宝院にて出家得度。聖憲はその後、「御五法修業」、「天茶供養」という秘義を編み出し、信者に指導していく。1931年(昭和12年)に日支事変が始まると、戦時中における奉獻金活動や慰問活動などを行い、以後終戦まで続ける。聖憲は、皇室至上主義、国粋



主義思想を持ちつつも、日本軍だけでなく、中国軍の戦死者、太平洋戦争が始まってからは、米軍の戦死者も供養した。1941年(昭和16年)からは国恩報謝、戦意高揚を祈願するために伊勢神宮や橿原神宮、御寺泉涌寺などへの参拝が行われるようになる。法主の岡野聖法は日本会議の代表委員。
東京都新宿区荒木町4

大野キリスト教会(日本バプテスト教会連合)

1955年、米軍厚木基地内のフォーゲル夫妻宅で川村登一師(東京烏山教会牧師)を招いて家庭集会を開始したところから、その歴史が始まっています。1957年、フォーゲル夫妻帰国に伴い、川村登一師を牧師に招聘(1965年退任→1983年召天)、町田市森野の借家で「単立町田ペンテコステ・ホーリネス教会」として発足しました。1959年、相模原市上鶴間の借家に移転し、「単立大野キリスト教会」に名称を変更しました。1965年には川村登一師の体調不良により、中澤啓介神学生を教職候補生として招聘しました。その翌年には、中澤啓介神学生が神学校卒業と同時に牧師に就任しました。1971年、現在の大野キリスト教会の所在地に会堂建設のための土地を取得。1972年、牧師館併設の会堂完成。

神奈川県相模原市南区相模大野6丁目9-13



白幡神社

大神保の鎮守で、農耕神として祭られたものと考えられる。なお、入口にある庚申塔は昭和初期に移されてきたものと思われる。周辺は深い森に囲まれており、参道は長く暗い。

達磨神社(正式名は白幡神社)は、怪奇現象研究家のY氏が雑誌やネットメディアで取り上げたことで一躍有名になった心霊スポットです。

千葉県船橋市大神保町636



備考

やはり繋がっていた。大野キリスト教会と同距離になることで解脱会の気を引き寄せられる。白旗神社とも同距離だがこの角度は、かむながらのみちと白旗神社に解脱会が守られる形だと思う。次はかむながらのみちに針を置いて解脱会との同距離を探ってみる。



- かむながらのみち - 解脱会 31.65km
- かむながらのみち - ニコラ・バレ修道院 31.65km
- かむながらのみち - 御嶽神社 31.65km
- かむながらのみち - 橋本神明大明神 31.65km
- かむながらのみち - さがみ野霊園 31.65km

ニコラ・バレ修道院

1872年（明治5年）、「キリシタン禁制の解かれる希望が見えてきた。今すぐ宣教女に来てほしい」というプチジャン司教からの要請に応じて、メール・マチルドと4名のシスターが、ヨーロッパ人宣教女として初めて日本の土を踏みました。彼らは、多くの苦難を乗り越えながら、横浜山手で、貧しいうち捨てられた子どもたちを世話し（仁慈堂のちの董学院）、「教え育てる」仕事を始めました。これが日本での宣教の始まりです。

東京都千代田区六番町14-4



御嶽神社

祭神 日本武尊、中筒男命

合祀祭神 住吉神社

由緒沿革

当社は瀧山城武相十郡領主・大石遠江守が瀧山城鎮守（又は一説に瀧山城下の部落鍛冶谷戸にある御嶽神社）の一体をここに崇祀せるものにして棟札に天文二年三月二日とありこれ創立の棟札なるべし（現在の神殿？四四

しくみ～定規とコンパス・ピンポイント



五年経過せし元和元年三月再建の棟札あり、この外再建の棟札四枚あるも年代不明・当時の社殿は享保二年の造営なりと相伝う（拝殿は大正十三年に改築）当社の別当は光明院（現在は？寺）にして古来上柚木下柚木両村の鎮守なるも、爾来下柚木の鎮守となす。二十八段の石段あり。鳥居は二基ありたるも、鳥居橋たもとの鳥居は廃棄せり。下柚木 宮卿にあり、勧請の年代を知らず、山上の宮造りなり、鳥居は八十メートルばかり下に在り、御神体なしある時雷鳴しきりたれば 唯事ならずと祭りをなしたる時に信託あり 社頭くぼき処にありてしばしば不浄をこうぶるに依り？意かなわず山上に移さんとて社をこぼちけるに、？四十種程の玉を得たりよって社を山上に移し、件の石をその下に埋め玉をもって神体となせり、今に至りてはその玉数？となりて御神体となす 降りて大正十二年に御嶽神社に合祀せり 東京都八王子市下柚木

橋本神明大明神

神社の創建は永禄 12 年（1569）と伝えられています。しかし、天保年間（1830～44）に地域全域を襲う大火があり、貴重な記録のすべてが焼失してしまいました。そのため地域の歴史やこの神社の詳細を調べることは非常に困難となっています。ただ、この神社の境内は古くから「お伊勢の森」と呼ばれ、伊勢神宮をお詣りに行く人はここで旅の安全を祈願してから出かけたといわれています。

神奈川県相模原市緑区橋本 6 丁目 3 9-2 5



さがみ野霊園

15,000区画を越える神奈川県最大の公園墓地。

神奈川県愛甲郡愛川町三増1918



備考

アニメ「君の名は。」で登場したニコラ・バレ修道院とさっそくつながった。ここと同距離になることで解脱会がかむながらのみちから気を引き寄せられる。橋本神明大明神やさがみ野霊園は偶然か、それとも江戸時代もしくは東京遷都からの緻密な「しくみ」都市計画図に基づいて複雑なしくみづくりができるのだろうか。

次はいよいよ宮中三殿。





- かむなぐらのみち - 宮中三殿 31.80km
- かむなぐらのみち - 皇居内生物学研究所 31.80km
- かむなぐらのみち - 駐日イスラエル大使館 31.80km
- かむなぐらのみち - (財)日本Y M C A同盟 31.80km
- かむなぐらのみち - 東京薬科大学 31.80km
- かむなぐらのみち - 宮中三殿 31.80km

宮中三殿賢所

宮中三殿は、皇居内にある三つの連結された建造物の総称である。それぞれ、神道の神を祀っており、宮中祭祀（皇室祭祀）の中心となる。宮中三殿の構内には、附属するいくつかの建造物が配置されている。四方拝、新嘗祭が行われる神嘉殿（しんかでん）、鎮魂祭や天皇皇后の装束への着替えが行われる綾綺殿（りょうきでん）、神楽が行われる神楽舎（かぐらしゃ）、楽師が雅楽を演奏する奏楽舎（そうがくしゃ）、列席者が待機する左幄舎（ひだりあくしゃ）と右幄舎（みぎあくしゃ）、賢所に正対する賢所正門、新嘉殿に正対する新嘉門などである。宮中三殿の祭祀は、明治維新から宮中祭祀の変遷と漸次的集約を経て、教部省が成立した直後の明治5年4月2日（1872年5月8日）に整ったと解されている。

賢所には皇祖神天照大神を祀る。その御霊代である神鏡（八咫鏡の複製）が奉斎されている。また「かしこどころ」と読んで神鏡そのものを指すこともある。古代より宮中で祭祀された。掌典及び内掌典が御用を奉り、「忌火」（「神聖な火」の意味）を護り続けるとされる。平安時代は温明殿（うんめいでん）、鎌倉時代以後は春興殿にあった。古代から続くという宮中祭祀が行われ、現在の皇后、皇太子妃など皇族の妃らを宮中に迎える結婚の儀もここで行われ



た。その際、后妃が賢所を退出した際に婚姻成立とみなされる。神聖な場所のため穢れを嫌い、「次清」の別などの厳格な規律があるという。

なお、宮中三殿のうち賢所は古代から宮中で奉斎されてきましたが、皇霊殿と神殿は、明治維新以降の宮中祭祀制度の再編成によって新たに宮中に遷座・奉斎されたものです。

祇を、西の座に歴代天皇の皇霊がそれぞれ奉斎され、鎮座祭が斎行されました。

東京都千代田区千代田 1-1

皇居内生物学研究所

宮中に生物学の研究室ができたのは、1925年（大正14年）9月19日のことです（当時24歳）。御用掛の服部広太郎が設計したもので、約45坪の木造平屋建て。赤坂離宮御苑の東の隅に位置していました。内部は実験室、図書機械室、準備室、飼育培養室の4部屋。附属建物として、実験材料の貯蔵室と園丁の詰所を兼ねた一棟と、10の区画に分かれた動物飼養舎、そして肥料・用具の物置がありました。さらに、実験用の圃場は500～600坪あり、200坪の花畑も併設されていました。昭和天皇は、基本的には土曜日にここに詰め、趣味の研究を続けます。

1928年（昭和3年）9月15日、昭和天皇の遷御とともに、生物学御研究室も現在の皇居に移転します。建物は本家（94坪の鉄筋コンクリート2階建て、135坪の木造平屋建て）2棟、附属家（32坪の木造平屋建て）、温室（31坪）、鶏舎（36坪）と大規模なものになりました（現在も「生物学研究所」として存続）。昭和天皇の初期の研究内容は、たとえば●動物の幼胚から新しく器官が作られるまでの変化●蚕の発育と繭づくりに紫外線が与える影響●稲の雑種の生成●フナと金魚双方の特徴を備えた「鉄魚」の雑種性の確認など。しかし、こうした生物学研究は、軍部から非常に睨まれていました。皇居内の生物学御研究所にも軍人が常駐し、かなりの圧力が掛けられました。後に、昭和天皇自身が会見でこう語っています。《あの頃は、もう非常にやかましくって、ええ、私の名前で発見した新種を出さない方がいい、という説が出たくらいで。相当あの時は、やかましかった》（1976年8月23日）

付属の水田では、毎年御田植えや稲刈り行事が行われている。

駐日イスラエル大使館

日本がイスラエルを主権国家として承認した1952年に駐日イスラエル公使館として設置され、1963年に大使館に昇格して現在に至っている。

東京都千代田区二番町3番地



（財）日本YMCA同盟

キリスト教青年会、通称YMCAは、キリスト教主義に立ち、教育・スポーツ・福祉・文化などの分野で様々な事業を展開する、150年以上の歴史を持つ世界的な組織である。世界的にはYMCAが通用名である。活動理念の根幹にキリスト教精神を据えているが、ボランティアおよびプログラムの参加者の信仰を規定してはいない。日本では、1880年（明治13年）に初めて東京にYMCAが設立されて以来（東京YMCA）、全国の主要な都市・大学にYMCAの活動拠点がある。1880年（明治13年）5月8日、青年牧師有志により日本で最初のYMCAとして東京YMCAが発足した。その際、初代会長に就任した小崎弘道が、Young Menに「青年」の訳を充てYoung Men's Christian Associationを「基督教青年会」と訳出した。これが「青年」という語の発祥とされる。

1844年（天保15年）- 世界初のYMCAがロンドンに創立





当時大本教は右翼及び軍部と強力な関係を持っており、道院紅卍字会（道教思想会）は大本教の聖師・出口王仁三郎がモンゴルに入って道教（紅卍教）と提携することで、組織された。この組織の中には、歴代首相の指南役で「神国日本」の守護者・安岡正篤や、財政会の黒幕・笹川良一が入会していた。大本教から分かれたのが「生長の家」で、日本を戦争へと誘っている「日本会議」の母体。解脱会も日本会議のメンバー。しくみを見れば須賀神社と近くの解脱会が宮中三殿から同距離に位置することで宮中三殿の気を引き寄せる形となっている。

悪い企みがないことを祈る。